

新年度の新しい事業は

平成27年度に新しい施策が始まります。中学校少人数学級、あつぎ元気商品券、社会保障・税番号制度についての概要です。

中学校少人数学級

中学1年生の学級の人数を35人以下にするもの。市内には13中学校ありますが、新年度に中学1年生で1学級の生徒数が35人を超えるのは6校です。そのうちの2校をモデル校に指定し、実施します。小学校から中学校への新しい環境への移行を円滑にするためにきめ細かな指導を行い、学力向上と、不登校等の減少を目指す。講師は非常勤。新単独事業で中1での少人数は県内初。予算385万円。

(教職員課)

あつぎ元気商品券

国の交付金を受けて厚木市が実施。1冊1万円で購入し、20%。5万冊(5億円)発行、一人3冊まで(年齢制限なし)。はがきで申し込み、抽選。8月末から9月初めに発行し、使用期限は年内。詳細は、今後、市と厚木商工会議所・商店会連合会が協議して決める。(商業にぎわい課)

社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)

国民一人ひとりに12桁の番号をつけ、社会保障や税の情報を一元管理するもの。事務は市町村が行う。今年10月に、付与した番号を個人に郵送で通知する。個人からの申請により、共通番号カードを発行する。カードには、氏名・性別・生年月日・住所及び顔写真の個人情報(明記される)。現在、住民基本台帳ネットワークがあるが、普及率は全国で5%程度であり、ほとんど活用されていない。マイナンバーは住基ネットの番号とは別な番号となる。(市民課)

※ 国が個人を管理するものであり、さらにいろいろなところで拡大し、民間でも利用されることが懸念されている。プライバシーの流失の危険が大きい。同様の制度のあるアメリカでは、他人に成りすましてのカードローン利用や、子どものカードを使った被害があり、社会問題になっている。

住基カードの例を引くまでもなく、マイナンバー制度は国民にとって必要なのか、大いに疑問である。

2月定例会議今後の予定

3月25日(水) 議会運営委・本会議

最終日は各常任委員会報告、各会派の討論、採決が行われます。ぜひ傍聴においでください。

今週の活動から



厚木市郷土資料館では3月22日(日)まで「平成26年度あつぎの遺跡展 厚木の古代を探る」を開催しています。今回は、古代(奈良・平安時代)の遺跡を紹介。県営住宅、学校、圏央道建設などで発掘調査された遺跡の数々が展示されていました。愛名宮路遺跡の「瓦塔(がとう)=仏塔のミニチュア」が珍しく、民衆への仏教の普及が感じられました。

(上: 釘丸久子議員)

3月14日(土) 市道路線の認定・廃止の現地調査を行いました。廃止路線は、水路敷や山の中など道路の形態がないものもあり、探し出すのが大変です。朝7時に出発し、午後1時過ぎまでかかって10カ所を回りました。

(下: 栗山香代子議員)



話題あれこれ

「意志力」で行動が変わる

3月14日(土)、東町スポーツセンターで「第42回スポーツ人のつどい」が開かれました。市内のスポーツ関係者が一堂に会し、交流と親睦を深めました。厚木市体育協会がスポーツ功労者19人と4団体を表彰、全国大会等に出場した140人、24団体が紹介されました。

それに先だって、「意志力」をテーマに、元バレーボール全日本代表の山本隆弘氏の講演がありました。山本氏が入ると会場からどよめき。身長が2mもある人を見る機会なんて、そうあるものではありません。



スリッパから足がはみ出し、スーツも特注など困ることも多いけれど、いいのが待ち合わせの時で「山本に集まれ」などと話し始めました。小学生で野球からサッカーへ、中学生で陸上からバレーボールへ。体育館のステージだけでの練習、初試合が初コート、1

点も取れずにぼろ負けしたけれど、ボールを必死で追いかけて楽しさを感じたこと、挫折を経て日本人初のプロ選手となりオリンピック出場。その経験の中で「人に言われて動くよりは、自分で決めて動く方が、自分の力を最大限に出すことができる」「人は意志力によって行動が変わってくる」「志を持って、人に限界は無い」と語りました。

会場から「自分の意志力を起すコツは。どういう事をすればいいか」との質問に「小さな事でいいので、毎日目標をつくる習慣を。挨拶は魔法の力、挨拶が苦手な人でも勇気を持って1回挨拶すれば気持ちよくなる。自信につながる」と。